

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月10日(月) 13:00～15:00
- 3 開催場所 岐阜高等学校大会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会長	西津 貴久	岐阜大学 教授	(欠席)
副会長	安田 洋一郎	本郷自治会 副会長	
委員	伊在井みどり	岐阜県医師会 会長	
	伊藤 知子	PTA会長	
	高木 敏彦	岐阜県教育文化財団 理事長	
	中村 こず枝	岐阜市保健衛生部長兼保健所長	
学校側	小野 悟	校長	
	瀨瀬 和也	事務部長	
	田内 俊文	教頭	
	高田 剛	教頭	
	石川 翔太	教務部長	
	伊藤 翼	生徒指導部長	
	覺田 敬	進路指導部長	

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 制服について(夏の暑熱対策として、ポロシャツを制服の選択肢の一つとして導入したいという生徒会の提案について)

意見1: 導入に賛成である。デザイン(色・形)や着用のルールなどについて、皆が納得できるよう検討してほしい。(複数)

意見2: ポロシャツは洗濯しやすく乾きやすいので、保護者としても助かる。社会的にもクールビズが浸透しており、時代に合った対応である。

意見3: 快適に過ごせるよう、生徒たちが自主的に意見を出して工夫をしていく姿勢は、非常に望ましい。

(2) 授業参観について

意見1：どの授業も素晴らしく、タブレット端末やプレゼンテーション資料を活用することで、効果的かつ効率的に授業が展開されていた。

意見2：インプット（聞く・読む）中心ではなく、アウトプット（話す・書く）を重視したモデル的授業であった。教え込みや暗記型の授業ではなく、先生がファシリテーターとして、協働的な学びが展開されていた。

意見3：基礎学力の定着を図りながら、応用的・発展的な学習に取り組んでいる。その成果が課外学習の成果にもつながっている。緊張しながらも皆の前で堂々と発表できる姿に感心した。

意見4：総合的な探究の時間の授業では生成AIの活用について学習しており、虚偽情報・個人情報・著作権などの注意点も適切に取り扱われていた。高校時代にデータ分析の手法を学ぶことは将来に役立つ。

意見5：タブレット端末を使用した授業だと、教材が多く机のサイズが小さいように感じる。生徒がストレスなく学べる環境の整備が必要である。

(3) 学校評価アンケート結果、学校の取組について

意見1：生徒、保護者ともに学校に対する満足度が非常に高い。「本校に入学できてよかった」という保護者の声を聞く。

意見2：アンケート結果は良好である。現在の教育を自信をもって進めてほしい。

意見3：近年、進学実績が伸びている高校では、受験対策だけでなく探究活動や課外活動にも積極的に取り組んでいる。本校では、社会課題に自ら向き合い、主体的に解決していく力を育む教育が展開されており、今後の社会や企業で必要となっていく人材の育成につながっている。

意見4：ICT化・デジタル化が進む中で、対人コミュニケーション能力の低下が懸念されている。バランスのとれた教育を展開してほしい。

意見5：国際化や異文化理解の重要性が高まる中、ICT機材を活用して海外の方々との交流を図るような取組を行ってはどうか。

6 会議のまとめ

- ・各委員から、忌憚のない多くの意見を得た。今年度後半の学校経営と次年度の経営計画の策定に反映させたい。
- ・第3回学校運営協議会では、今年度の教育活動の振り返りと次年度の学校運営に対する指導・助言を得る予定である。